



吉村西二(1962年)

1958年12月、戦後の独立間もない日本から、盆栽や道具の数々を詰めたケースを携え、単身ニューヨークに降り立った日本人盆栽家の姿がありました。彼の名は吉村西二、当時37歳の盆栽家の旅は、やがてアメリカ全土、そして世界に盆栽を広めることになる、開拓者としての長い旅路へとつながります。

東京、中目黒の盆栽園に生まれた吉村西二(1921~1997)は、戦後、盆栽に興味をもつふたりの外国人との出会いを通じて、ニューヨークへの切符を手にします。そのうちの一人、後に米国立樹木園の園長となるジョン・クリーチに吉村が語った夢——アメリカに、国立の盆栽コレクションを展示する場所を作りたいとの思いを発端として、1976年、クリーチは建国200周年の祝意として、日本盆栽協会から米国へ53点の盆栽の寄贈を受け、米国立盆栽・盆景園を開設しました。

本展は「Bonsai, Beyond the Border(国境を越える盆栽)」を大きなテーマに、戦後の日本と密接な関係を持つアメリカを舞台として、盆栽の国際化に貢献した吉村西二の生涯に注目します。アメリカ盆栽史を切り拓き、数多くの愛好家を育て、盆栽の父と称えられた、知られざる日本人盆栽家の姿をたどります。



外国人向けの盆栽教室(1954年)



吉村とヴァラヴァニス氏(1969年)

特別展講演「日本の父、師“Mr.Y”の思い出」

参加費
無料

講師

ウィリアム・ヴァラヴァニス氏

(インターナショナル・ボンサイ、米ニューヨーク州ロチェスター在住)

米国を代表する盆栽家。10代より盆栽をはじめ、1960年代から吉村に師事。没年まで活動を支え、本展出品物をはじめ、吉村が遺した大半の資料を継承する。 ※英語講演、通訳あり

日時

11月19日(火) 14:00~15:30

会場

講座室

定員

40人(要事前申し込み)

申込方法

往復はがきに、(特別展講演会、郵便番号、住所、氏名、電話番号)を明記の上、11月7日(木)必着で当館まで。

秋季特別展ギャラリートーク

- 日時 10月19日(土)
11月3日(日祝)
11月16日(土)
各日13:30~

- 担当 展覧会担当学芸員

※当日有効の観覧券をご用意の上、ロビーにお集まりください。

ここにも注目!

令和元年8月5日、大宮盆栽美術館は、米国ワシントンDCにある米国立樹木園(米農務省所管)内の盆栽展示施設、米国立盆栽・盆景園と初の姉妹館提携を結びました。

本展は、令和2年3月に迎える当館の開館10周年、そして同園との姉妹館提携を記念し、提携事業の一環として開催するものです。今後の文化交流の展開にご期待ください。

開館時間 3月~10月:9時~16時30分
11月~2月:9時~16時

*入館は30分前まで

休館日 木曜日(祝日の場合は開館)、
年末年始、臨時休館日あり

観覧料 一般…………… 310円(200円)
高大生・65歳以上の方 …… 150円(100円)
小中学生…………… 100円(50円)

*障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方一名は半額

*()内は、20名以上の団体料金



電車利用 JR宇都宮線「土呂駅」下車 東口より徒歩5分
東武アーバンパークライン「大宮公園駅」下車 徒歩10分
首都高速埼玉新都心線「新都心西」出口より約6km
東北自動車道「岩槻」出口より約9km
駐車場:一般車両39台(2時間まで無料)
大型車3台(880円)、障害者用2台(無料)



さいたま市

大宮盆栽美術館

〒331-0804 埼玉県さいたま市北区土呂町2-24-3
TEL 048-780-2091 FAX 048-668-2323
<https://www.bonsai-art-museum.jp>



このチラシは30,000部作成し、1部当たりの印刷経費は5円です。